

---

# 第 1 章

## 平成21年の福島県経済の概況

---

## 第1章 平成21年の福島県経済の概況

### ◆ 総合判断

**平成21年の福島県経済は、生産活動が極めて大幅な減少から緩やかな持ち直しに転じたが、なお低水準であったため、雇用情勢は依然厳しく、個人消費も弱い状態で推移するなど、厳しい状況が続いた。**

平成21年の日本経済は、世界的金融危機と実体経済の悪化を背景とした急速な景気減速で始まった。年初から、生産活動において大規模な生産調整が実施されるなど企業を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続いたため、雇用・労働環境は急速に悪化していった。また、景気後退を受け、消費者の生活防衛意識が高まったことから、家計部門では弱い動きが続いた。

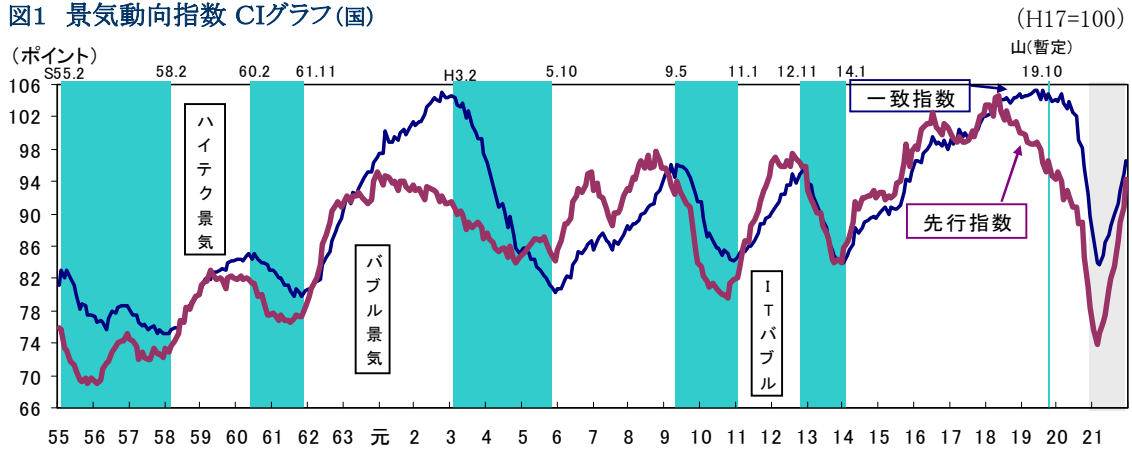
第2四半期には、新興国を中心とした海外経済の改善や各種緊急経済対策の効果等を背景に、生産活動が上昇に転じるとともに、個人消費にも明るい動きがみられるなど持ち直しの動きが見られ始めた。しかしながら、雇用や設備に対する調整圧力は依然として残り、雇用・労働環境は厳しい状況が続いた。さらに、景気低迷による需要減等から物価低下圧力が高まり、消費者物価指数の下落が続き、政府は「日本経済は緩やかなデフレ状況にある」との認識を示した。(図1、図2)

平成21年の福島県経済は、日本経済と同様に世界的金融危機を背景に、生産活動では大規模な生産調整が続き、生産・出荷は極めて低水準で推移し、雇用・労働環境も急速に悪化していった。また、雇用・労働環境の悪化から、消費者の節約・低価格志向は高まり、個人消費は弱い状態が続いた。

第2四半期以降、生産活動において在庫調整がほぼ終了したことから、生産・出荷も徐々に減少率を縮小し、年後半には緩やかながら持ち直しの動きもみられるようになった。しかし、水準は依然低いままであったため、生産活動の持ち直しが、雇用・労働環境の持ち直しに波及するまでには至らず、雇用・労働環境は厳しい状況が続き、個人消費も依然として弱い状態が続いた。

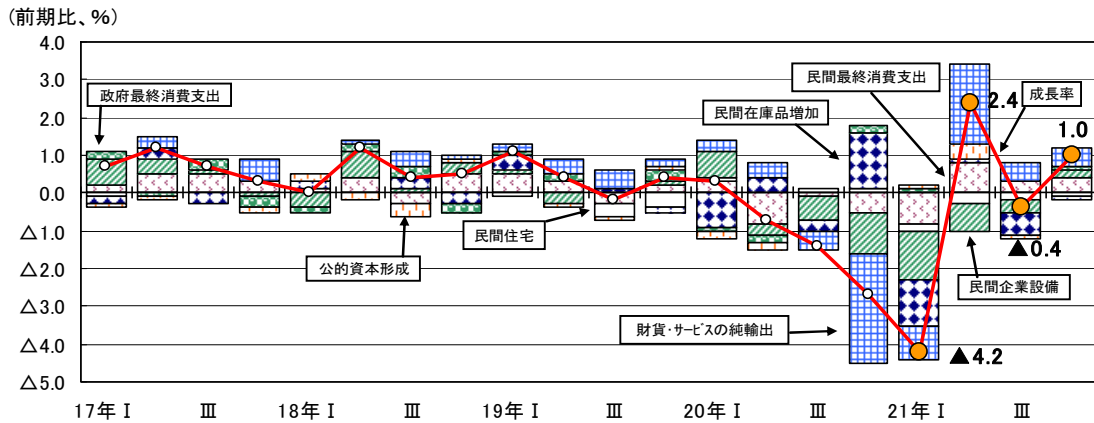
以上のとおり、平成21年の福島県経済は、生産活動が極めて大幅な減少から緩やかな持ち直しに転じたが、なお低水準であったため、雇用情勢は依然厳しく、個人消費も弱い状態で推移するなど、厳しい状況が続いた。(図3)

図1 景気動向指数 CIグラフ(国)



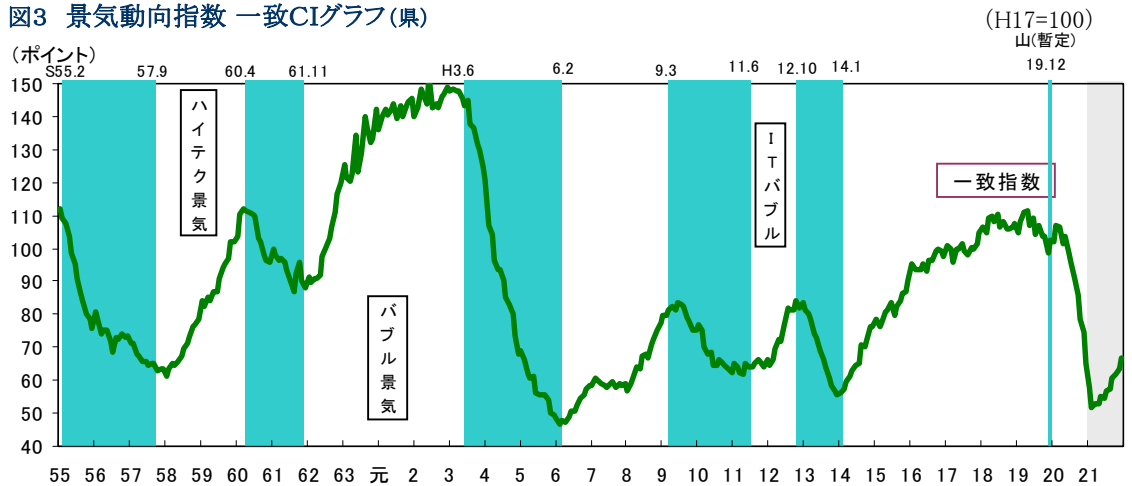
備考 1 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」より作成。)  
 2 (シャドウの部分は日本経済の景気後退期を示している。)  
 3 (各景気の名前は正式なものではなく通称を付したものである。)

図2 国内総生産(GDP)成長率及び寄与度(実質、季節調整系列)



備考 1 (内閣府経済社会総合研究所「需要項目別時系列表データ(連鎖方式)」より作成。)  
 2 (平成12暦年連鎖価格。)  
 3 (93SNA。)

図3 景気動向指数 一致CIグラフ(県)



備考 1 (福島県統計分析課「福島県景気動向指数」より作成。)  
 2 (シャドウの部分は福島県経済の景気後退期を示している。)  
 3 (各景気の名前は正式なものではなく通称を付したものである。)

### 主要経済指標の概要

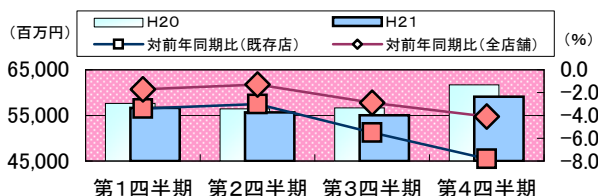
個人消費 変化方向 厳しい雇用・労働環境等を背景とした節約・低価格志向の高まりから弱い状態が続いた。

- (1) **大型小売店販売額**は全店舗ベースで総額2,264億7,000万円、対前年比2.5%減となり、2年振りに前年を下回った。

◆ 詳細は、P11に掲載

(単位:百万円, %)

	販売額	対前年同期比 対前年比(全店舗)	対前年同期比 対前年比(既存店)
第1四半期	56,638	▲ 1.7	▲ 3.4
第2四半期	55,695	▲ 1.3	▲ 3.0
第3四半期	55,003	▲ 2.9	▲ 5.5
第4四半期	59,133	▲ 4.1	▲ 7.8
H21年	226,470	▲ 2.5	▲ 5.0

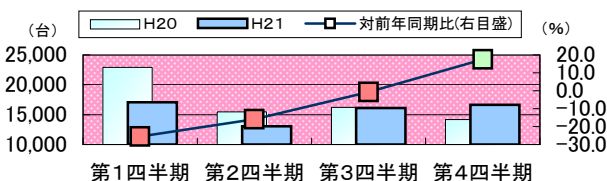


- (2) **乗用車新規登録台数**は62,867台、対前年比8.6%減となり、9年連続で前年を下回った。

◆ 詳細は、P13に掲載

(単位:台, %)

	登録台数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	17,069	▲ 25.5
第2四半期	13,036	▲ 15.8
第3四半期	16,109	▲ 0.7
第4四半期	16,653	▲ 17.4
H21年	62,867	▲ 8.6



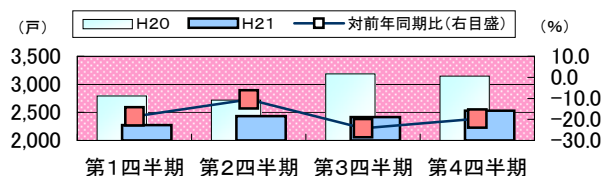
建設需要 変化方向 民間需要は減少した。公共工事は前年を上回った。

- (1) **新設住宅着工戸数**は9,657戸、対前年比18.5%減となり、2年振りに前年を下回った。

◆ 詳細は、P15に掲載

(単位:戸, %)

	着工戸数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	2,275	▲ 18.6
第2四半期	2,435	▲ 10.5
第3四半期	2,418	▲ 24.2
第4四半期	2,529	▲ 19.7
H21年	9,657	▲ 18.5

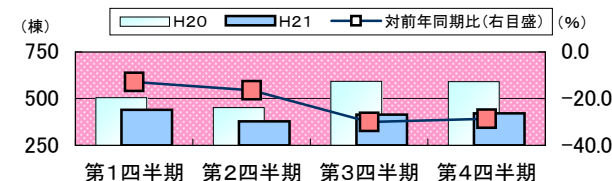


- (2) **業務用建築物着工棟数**は1,654棟、対前年比22.7%減となり、4年連続で前年を下回った。

◆ 詳細は、P17に掲載

(単位:棟, %)

	着工棟数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	440	▲ 12.9
第2四半期	378	▲ 16.4
第3四半期	414	▲ 30.1
第4四半期	422	▲ 28.6
H21年	1,654	▲ 22.7

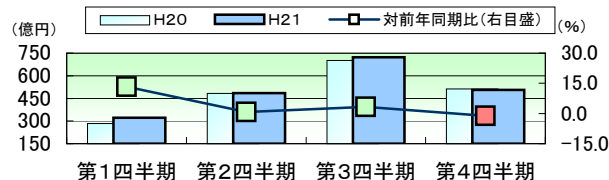


- (3) **公共工事請負金額**は2,037億円、対前年比3.0%増となり、2年連続で前年を上回った。

◆ 詳細は、P19に掲載

(単位:億円, %)

	請負金額	対前年同期比 対前年比
第1四半期	321	▲ 13.3
第2四半期	486	▲ 0.8
第3四半期	723	▲ 3.3
第4四半期	507	▲ 1.1
H21年	2,037	▲ 3.0

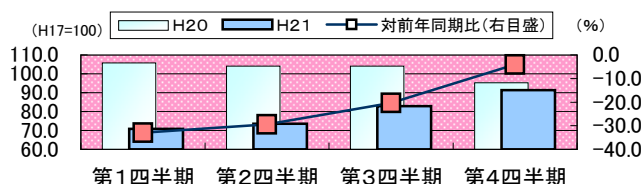


生産活動 変化方向 前半は減少傾向が続き低水準となったが、後半には緩やかに持ち直しの動きがみられた。

- (1) **鉱工業生産指数**は79.7(H17=100)、対前年比22.1%減となり、2年連続で前年を下回った。 ◆ 詳細は、P21に掲載

(単位: H17=100, %)

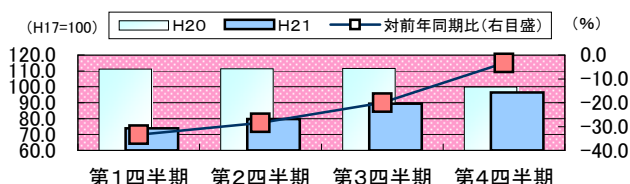
	生産指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	70.9	▲ 33.0
第2四半期	73.5	▲ 29.4
第3四半期	82.9	▲ 20.4
第4四半期	91.3	▲ 4.1
<b>H21年</b>	<b>79.7</b>	<b>▲ 22.1</b>



- 鉱工業出荷指数**は84.8(H17=100)、対前年比21.8%減となり、2年連続で前年を下回った。

(単位: H17=100, %)

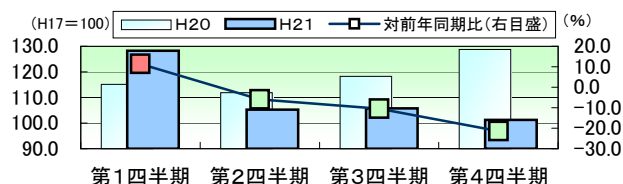
	出荷指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	73.9	▲ 33.5
第2四半期	79.7	▲ 28.4
第3四半期	89.3	▲ 20.0
第4四半期	96.4	▲ 3.4
<b>H21年</b>	<b>84.8</b>	<b>▲ 21.8</b>



- 鉱工業在庫指数**は110.1(H17=100)、対前年比7.1%減となり、5年振りに前年を下回った。

(単位: H17=100, %)

	在庫指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	128.2	▲ 11.4
第2四半期	105.3	▲ 5.9
第3四半期	105.8	▲ 10.5
第4四半期	101.3	▲ 21.4
<b>H21年</b>	<b>110.1</b>	<b>▲ 7.1</b>

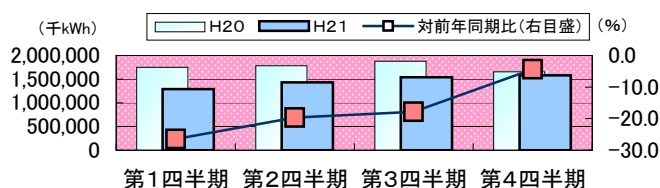


- (2) **大口電力使用量**は約5,846百万kWh、対前年比17.2%減となり、11年振りに前年を下回った。 ◆ 詳細は、P25に掲載

(単位: 千kWh, %)

	使用量	対前年同期比 対前年比
第1四半期	1,287,467	▲ 26.4
第2四半期	1,432,469	▲ 19.6
第3四半期	1,542,746	▲ 17.8
第4四半期	1,583,423	▲ 4.4
<b>H21年</b>	<b>5,846,105</b>	<b>▲ 17.2</b>

(四半期値は、月値の平均値)



備考 1 指標名が**緑字**の場合には、前年より指標が改善したことを表し、指標名が**赤字**の場合には、前年より指標が悪化していることを表しています。  
 2 図が左図の色の場合は、年ベースで見た場合に前年より指標が改善したことを表し、    図が左図の色の場合には、前年より指標が悪化したことを表しています。  
 3     図中の折れ線グラフの色が左図の場合には、四半期ベースで見た場合に前年同期(又は前期)より指標が改善したことを表し、    図中の折れ線グラフの色が左図の場合には、前年同期(又は前期)より指標が悪化したことを表しています。

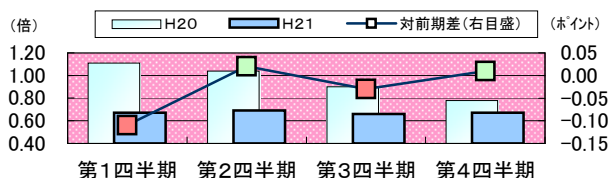
雇用・労働 <sup>変化方向</sup> 雇用・労働環境は悪化し、厳しい状況が続いた。

- (1) **新規求人倍率**(原指数)は**0.67倍**、対前年差**0.29ポイント**低下し、**2年連続で前年を下回った**。

◆ 詳細は、P27に掲載

(単位:倍、ポイント)

	倍率	対前期差 対前年差
第1四半期	0.67	▲ 0.11
第2四半期	0.69	▲ 0.02
第3四半期	0.66	▲ 0.03
第4四半期	0.67	0.01
H21年	<b>0.67</b>	<b>▲ 0.29</b>

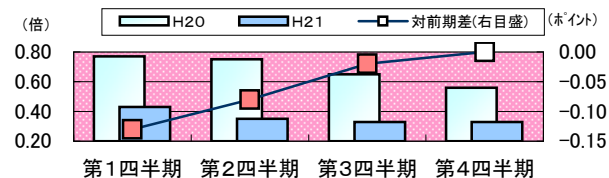


- (2) **有効求人倍率**(原指数)は**0.36倍**、対前年差**0.32ポイント**低下し、**2年連続で前年を下回った**。

◆ 詳細は、P29に掲載

(単位:倍、ポイント)

	倍率	対前期差 対前年差
第1四半期	0.43	▲ 0.13
第2四半期	0.35	▲ 0.08
第3四半期	0.33	▲ 0.02
第4四半期	0.33	0.00
H21年	<b>0.36</b>	<b>▲ 0.32</b>

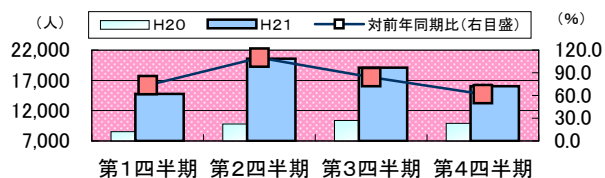


- (3) **雇用保険受給者実人員**は年間平均で1か月当たり**17,620人**、対前年比**82.4%増**となり、**2年連続で前年を上回った**。

◆ 詳細は、P29に掲載

(単位:人、%)

	受給者実人員	対前年同期比 対前年比
第1四半期	14,747	73.3
第2四半期	20,585	109.7
第3四半期	19,112	84.0
第4四半期	16,037	61.6
H21年	<b>17,620</b>	<b>82.4</b>

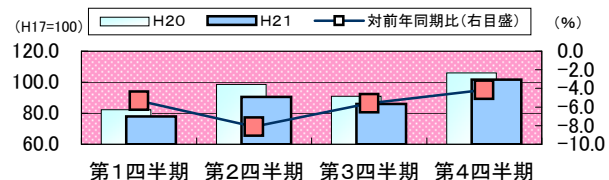


- (4) **現金給与総額指数**は**89.0**(H17=100)、対前年比**5.8%減**となり、**3年連続で前年を下回った**。

◆ 詳細は、P33に掲載

(単位:H17=100、%)

	指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	78.0	▲ 5.3
第2四半期	90.5	▲ 8.1
第3四半期	85.9	▲ 5.6
第4四半期	101.6	▲ 4.2
H21年	<b>89.0</b>	<b>▲ 5.8</b>

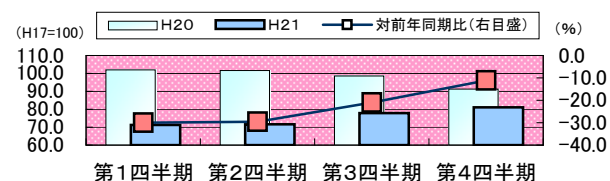


- (5) **所定外労働時間指数**は**75.4**(H17=100)、対前年比**23.3%減**となり、**2年連続で前年を下回った**。

◆ 詳細は、P33に掲載

(単位:H17=100、%)

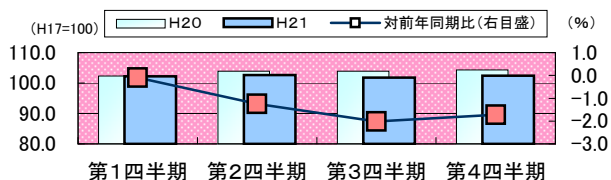
	指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	71.3	▲ 30.0
第2四半期	71.6	▲ 29.5
第3四半期	77.8	▲ 21.0
第4四半期	81.0	▲ 11.2
H21年	<b>75.4</b>	<b>▲ 23.3</b>



(6) **常用雇用指数**は102.3 (H17=100)、対前年比1.3%減となり、4年振りに前年を下回った。 ◆ 詳細は、P35に掲載

(単位: H17=100、%)

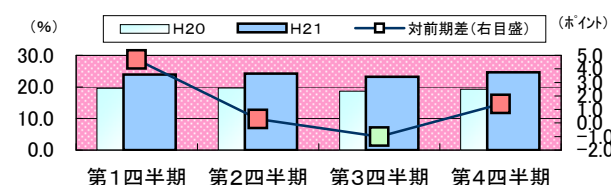
	指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	102.2	▲ 0.1
第2四半期	102.6	▲ 1.3
第3四半期	101.8	▲ 2.0
第4四半期	102.5	▲ 1.7
H21年	102.3	▲ 1.3



(7) **パートタイム労働者比率**は24.0%、対前年差4.7ポイント上昇し、2年振りに前年を上回った。 ◆ 詳細は、P35に掲載

(単位: %、ポイント)

	労働者比率	対前期差 対前年差
第1四半期	23.9	4.7
第2四半期	24.2	0.3
第3四半期	23.2	▲ 1.0
第4四半期	24.6	1.4
H21年	24.0	4.7

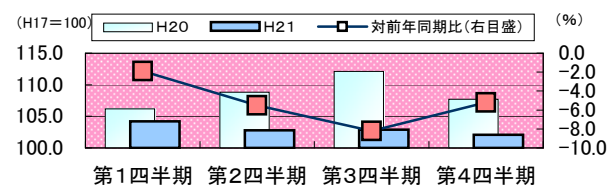


物 価 物価は下落した。

(1) **国内企業物価指数**は103.0 (H17=100)、対前年比5.2%減となり、6年振りに前年を下回った。 ◆ 詳細は、P37に掲載

(単位: H17=100、%)

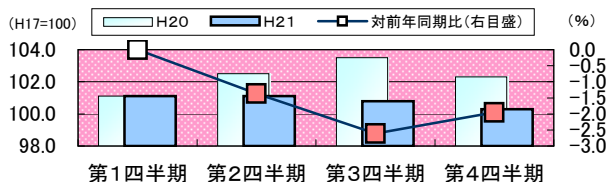
	指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	104.2	▲ 1.9
第2四半期	102.8	▲ 5.5
第3四半期	102.9	▲ 8.2
第4四半期	102.1	▲ 5.2
H21年	103.0	▲ 5.2



(2) **福島市消費者物価指数(総合)**は100.8 (H17=100)、対前年比1.6%減となり、6年振りに前年を下回った。 ◆ 詳細は、P39に掲載

(単位: H17=100、%)

	指数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	101.1	0.0
第2四半期	101.1	▲ 1.4
第3四半期	100.8	▲ 2.6
第4四半期	100.3	▲ 2.0
H21年	100.8	▲ 1.6



企業関連 ↗ 変化方向 収益は増加した。企業倒産は前年を下回って推移したものの、不況型倒産が多く予断を許さない状況が続いた。

- (1) **全産業の経常損益**(日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査 福島県分」の調査結果より)は対前年度比**1.5%増**となり、**2年振りに増益**となった。 ◆ 詳細は、P41に掲載

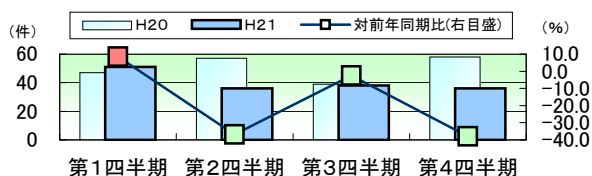
(単位: %)

	対前年度比
H21年度	1.5

- (2) **企業倒産件数**は161件、対前年比**19.9%減**となり、**2年振りに前年を下回った**。 ◆ 詳細は、P43に掲載

(単位: 件、%)

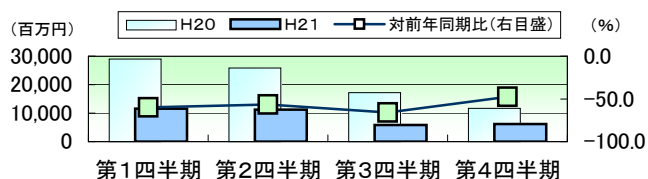
	件数	対前年同期比 対前年比
第1四半期	51	8.5
第2四半期	36	▲ 36.8
第3四半期	38	▲ 2.6
第4四半期	36	▲ 37.9
H21年	161	▲ 19.9



**企業倒産負債総額**は348億8,400万円、対前年比**58.3%減**となり、**2年連続で前年を下回った**。

(単位: 百万円、%)

	負債総額	対前年同期比 対前年比
第1四半期	11,596	▲ 60.0
第2四半期	11,266	▲ 56.5
第3四半期	5,871	▲ 65.9
第4四半期	6,151	▲ 47.4
H21年	34,884	▲ 58.3

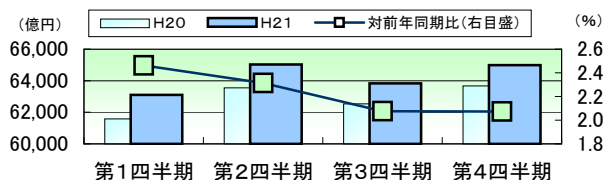


金融 ↘ 変化方向 預金は前年を上回り、貸出は前年を下回った。金利は低下した。

- (1) **金融機関預金残高**は総額6兆4,985億円、対前年比**2.1%増**となり、**3年連続で前年を上回った**。 ◆ 詳細は、P47に掲載

(単位: 億円、%)

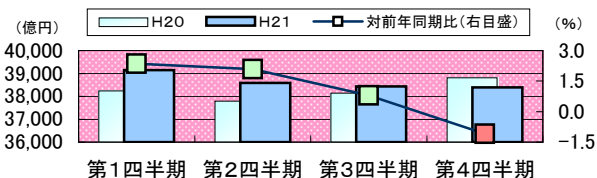
	預金残高	対前年同期比 対前年比
第1四半期	63,106	2.5
第2四半期	65,027	2.3
第3四半期	63,832	2.1
第4四半期	64,985	2.1
H21年	64,985	2.1



**金融機関貸出残高**は総額3兆8,393億円、対前年比**1.1%減**となり、**2年振りに前年を下回った**。

(単位: 億円、%)

	貸出残高	対前年同期比 対前年比
第1四半期	39,140	2.4
第2四半期	38,582	2.1
第3四半期	38,437	0.8
第4四半期	38,393	▲ 1.1
H21年	38,393	▲ 1.1



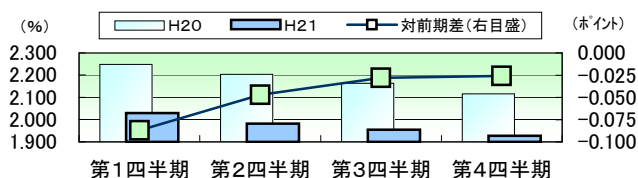


(2) **貸出約定平均金利**は地方銀行で**1.928%**、対前年差**0.188ポイント**低下となった。

◆ 詳細は、P49に掲載

(単位: %、ポイント)

	金利	対前期差 対前年差
第1四半期	2.029	▲ 0.087
第2四半期	1.982	▲ 0.047
第3四半期	1.954	▲ 0.028
第4四半期	1.928	▲ 0.026
H21年	1.928	▲ 0.188



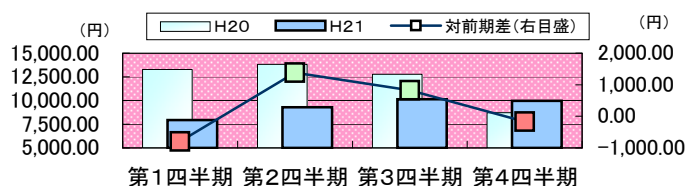
市場 変化方向 **株価は低調に推移した。円相場は円高で推移した。**

(1) **東証一部日経平均株価** (225種、期中平均値) は**9,339円28銭**、対前年差**2,811円52銭**安となり、**2年連続で前年を下回った**。

◆ 詳細は、P51に掲載

(単位: 円)

	株価	対前期差 対前年差
第1四半期	7,924.67	▲ 794.63
第2四半期	9,302.19	1377.53
第3四半期	10,128.98	826.78
第4四半期	9,962.39	▲ 166.59
H21年	9,339.28	▲ 2811.52

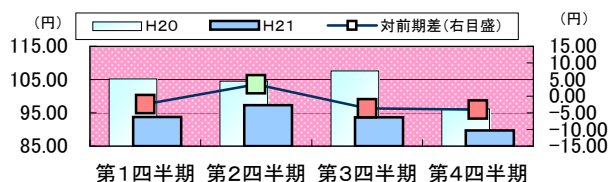


(2) **東京外国為替市場の円相場** (対米ドル、期中平均値) は**93円64銭**、対前年差**9円75銭**高となり、**2年連続で円高**となった。

◆ 詳細は、P51に掲載

(単位: 円)

	円相場	対前期差 対前年差
第1四半期	93.74	▲ 2.44
第2四半期	97.31	3.57
第3四半期	93.69	▲ 3.62
第4四半期	89.70	▲ 4.00
H21年	93.64	▲ 9.75



景気動向指数 変化方向 **緩やかに上昇した。**

(1) **福島県景気動向指数** (CI一致指数) は、**緩やかに上昇した**。

◆ 詳細は、P53に掲載

(単位: ポイント)

	CI一致指数	対前期差 対前年差
第1四半期	52.7	▲ 12.2
第2四半期	54.7	2.0
第3四半期	60.6	5.9
第4四半期	66.9	6.3
H21年	66.9	2.0

(年値は年末値)

